

第 73 回国民体育大会「福井しあわせ元気国体」

少年男子(松本国際高校)が3位に 成年男子(VC長野)は5位入賞！

3年ぶり！バレーボール競技 男女総合成績第7位！

【県強化委員 鏡味照明】



10月5日（金）より開催されました「第73回福井しあわせ元気国体バレーボール競技大会」に、本県からは2種別（少年男子に松本国際高校、成年男子にVC長野トライデンツ）が出場し、少年男子は3位、成年男子は5位という好成績を上げました。

少年男子の長野県（松本国際高校）は、5日（金）の1回戦に高知県選抜と対戦。序盤から硬さが見られ、なかなか波に乗れない状態のまま、試合自体はセットカウント2-0で勝利しましたが、次戦に不安が残る内容でした。

6日（土）の2回戦は、インターハイ優勝の市立尼崎高校を主体とする兵庫県選抜に挑む注目の一戦でした。長野県は、昨日とは見違えるような気迫あるプレーを展開。1セット目は終始リードを奪われるも粘り強く戦い、終盤に好サーブで相手を崩して逆転でセットを奪いました。2セット目に入ると、兵庫県選抜は浮足立ってサーブ・スパイクにミスが増え、最後まで長野県のペースで進んで、セットカウント2-0で貴重な勝利を勝ち取りました。

7日（日）は準々決勝・準決勝の2試合が予定されている1試合目、ベスト4入りをかけた一戦は、岐阜県選抜との試合でした。1セット目は昨日の勢いのままセットを取りましたが、2セット目は終始岐阜県の流れで展開。このセットを落として1-1になりましたが、最終セットはリズムを取り戻し、終盤岐阜を突き放して勝利。準決勝に駒を進めました。

2試合目の準決勝からは5セットマッチとなり、広島県選抜と決勝戦へのキップをかけた試合となりました。試合は長野県が第2・第3セットを連取し、セットカウント2-1として主導権を握りました。しかし、広島県の巧みなサーブと粘り強い守りから要所をエースアタッカーに決められ、フルセットの激戦の末に悔しい敗戦となり、3・4位決定戦に回るようになりました。

8日（月）の最終日、3・4位決定戦の相手は強豪鎮西高校単独チームの熊本県との戦いとなりました。試合は各セットとも一進一退の攻防となりましたが、大事な場面や終盤に長野県のブロックが機能し、セットカウント3-0で熊本県を下して2年ぶりの3位を獲得しました。



成年男子の長野県（V C長野トライデンツ）は5日（金）の1回戦で、昨年の愛媛国体でベスト4に入った愛媛県選抜と対戦。安定した力を発揮してセットカウント3－0で勝利し、ベスト8進出を決めました。

6日（土）は大阪府の近畿大学とベスト4をかけての戦いとなりましたが、前日の試合で中心選手であるミドルブロッカー：森崎が負傷して欠場した影響が大きく、流れを掴めないままセットカウント0－3で敗れ、5・7位決定戦に回りました。



7日（日）の5・7位決定戦は東京都の警視庁との試合となりました。Vリーグでも何度も顔を合わせているチームでもあり、チーム状態を考えると厳しい試合が予想されました。しかしながら、終始落ち着いた試合運びを展開し、各セットとも終盤までもつれる試合の中、集中力を切らすことなく各選手が自分の役割を果たしてセットカウント3－0で勝利し、5位を確保しました。



少年男子の松本国際高校は、優勝にはあと一步届きませんでしたが、試合を重ねるたびに自分達のバレーに自信を持つことができ、高校選手権に向けて貴重な経験ができたと思います。

また、成年男子のV C長野トライデンツも、新リーグ参戦では厳しい戦いが予想されますが、精神的な逞しさが見られた大会でした。

最後に、昨年は全種別が本国体に参加できず苦々しい思いをしてきましたが、今年は両チームの活躍で溜飲を下げることができました。改めて両チームの選手・スタッフの頑張りに感謝したいと存じます。

天皇杯・皇后杯全日本選手権大会北信越ブロックラウンドを開催

【長水協会理事長 竹内 護】

10月13日（土）・14日（日）に北信越の各県、各カテゴリーから代表24チームを迎え、ホワイトリングにて標記大会が開催されました。



本県からは、男子にV C長野トライデンツと長野☆ガロンのVリーグ勢、ケンタカムカムと笑話のクラブチーム、高校からは松本国際が出場。一方の女子には、実業団からルートインホテルズ、東海大付諏訪・松商学園といった高校チームと中学校カテゴリーからは初参戦のJOCカップ長野県女子選抜の男女計9チームが出場しました。

開会式には長野市長代理として松本孝生氏（教育次長）を迎え、V C長野トライデンツ：栗木主将の力強い選手宣誓でスタートしました。

1 日目は長野☆ガロンズが新潟大学の若さとパワーにあふれる攻撃を捌ききれず、初戦敗退するという番狂わせもありましたが、男子の松本国際高校、女子の東海大付諏訪、ルートインホテルズが準決勝・決勝への進出を果たすなど奮闘を見せました。注目された中学生の J O C カップ長野女子選抜は健闘したものの、まだ慣れていない 5 号球でミスも目立ち、上手さに勝る福井商業高校の前にストレート負けを喫してしまいました。その他、惜しくも敗退したチームの選手諸君も気迫あふれるプレーで粘り強く健闘し、見応えのある試合を展開しました。

男子 2 日目、順当に勝ち上がった V C 長野トライデント（以下「V C 長野」）に準決勝で対したのは松本国際高校（以下「松本国際」）。国体の代表チーム同士の戦いとなりました。松本国際は、粘り強い攻守で大健闘。第 1 セット目を奪うと、第 2 セットを奪い返えされたものの、第 3 セットも一進一退の展開に持ち込みました。結局デュースの末に、かろうじて V C 長野が食い下がる松本国際を振り切りました。

決勝での V C 長野は、ノーシードから勝ち上がって来た新潟大学に対し、要所で確実にブロックやアタックを決めて貫禄を示し、両セット共 20 点以下に抑えて昨年に続くファイナルラウンド出場権を獲得しました。

女子の A グループ代表決定戦は、P F U ブルーキャッツ（以下「P F U」）に東海大付諏訪高校が挑みました。第 1 ・第 2 セット共に序盤から中盤にかけては、競り合って粘りを見せた東海大諏訪高校でしたが、中盤以降はじりじり引き離され押し切られてしまいました。尚、P F U に所属する本県出身の堀口選手と松下選手も出場して、澁刺としたプレーを見せてくれました。

B グループの代表決定戦は、ルートインホテルズ（以下「ルートイン」）が丸山貴也監督（松本美須ヶ丘高校→筑波大）率いる K U R O B E アクアフェアリーズ（以下「アクアフェアリーズ」）と対戦。ルートインは第 1 セットを落とすと、セッターを交代するなどの効果的なメンバーチェンジとリベロの好守からデュースの末、第 2 セットを奪い返しました。第 3 セットは、序盤でルートインが 3 点リードする場面もありましたが、中盤に追いつかれると、徐々に地力に勝るアクアフェアリーズに引き離され、残念ながら 17 点で力尽きました。

代表決定戦の 2 日目には、北信越地区の各県からそれぞれ 1 チーム以上、また各カテゴリーからもそれぞれに（中学生は除く）1 チーム以上が勝ち上がる多彩な顔ぶれとなり、大変盛り上がる大会となりました。



P F U ブルーキャッツ



K U R O B E アクアフェアリーズ



V C 長野トライデント

男子9人制で駒ヶ根クラブが優勝 男子6人制では信大クラブが3位に

【駒ヶ根クラブ監督 北林昌彦】

10月13日（土）～14日（日）、新潟県新潟市東総合スポーツセンター他で、デサント杯第17回北信越クラブバレーボール男女優勝大会が開催されました。

9人制男子は北区スポーツセンターで開催され、駒ヶ根クラブと丸子クラブが出場しました。

第1日目はトーナメント進出を賭けた決定選でした。駒ヶ根クラブはふじクラブ（新潟県）と対戦し、初戦の緊張はありましたが、終始リードしてストレートで勝利しました。

第2日目の決勝トーナメント1回戦は、石川県のかほくクラブと対戦しました。1セット目はディフェンスの乱れから接戦となりました。2セット目の序盤からサーブが走り、ストレートで勝利しました。

準決勝は、事実上の決勝戦と思われる、てらどまり（新潟県）との対戦でした。強サーブと強打の好チームで、好試合となりました。1セット目は中盤で抜け出し、2セット目は9－13の劣勢から、5点連取で逆転し、これもストレート勝利となりました。粘り強く繋ぎ、我慢出来たことが勝利に繋がりました。



決勝は、新潟県のEDGEと対戦しました。この相手とは昨年也对戦して、その時はストレートで勝っています。久しぶりの決勝で少し出足は硬かったのですが、中盤でのリードを守り切り21－16で取りました。第2セットは、出足で1－4とリードされましたが、タイム後、渡辺のサーブで相手ディフェンスを崩すと、ラリーも粘り強く制し、11連続得点で大きくリードしてそのまま圧勝しました。

勝たなければならないと臨んだ大会でしたので少しプレッシャーはありましたが、確実に優勝することが出来たのは、選手個々、チーム力の向上があったからこそと思います。更に、試合を重ねるごとにチーム内の絆も深まり、好プレーを随所に見せることが出来ました。

今シーズンは、今大会はともかく、年間を通じて全体練習の不足が余り良い結果を出せないことに繋がることが多々ありました。今後は、この大会の成果を生かし、上の大会で勝負出来るように力を合わせて頑張りたいと思います。

尚、丸子クラブは準決勝で逆転負けを喫し、惜しくも3位という結果でした。

【信大クラブ部長 黒岩紀貴】

10月13日・14日に新潟市東総合スポーツセンターにてデサント杯第17回北信越クラブバレーボール男女優勝大会が行われました。

私たち信大クラブは予選を勝ち抜き、3位入賞を果たすことが出来ました。信大クラブは今年より活動を始め、人数が集まらない、練習がなかなかできない中で挑んだ大会でした。練習量では他のクラブチームに劣るかもしれないが、気持ちだけは負けないように話し合い、強い意志をもって戦い抜くことが出来たことが今回の結果に繋がったと思っています。

出来たばかりのチームで、まだまだ課題はたくさんありますが、クラブとして練習時間を確保することも含めて、精一杯活動をしていきたいと思っています。

今後も各種大会に積極的に参加をしていきたいと思っています。

レディースの部で dai-fuku がフリーの部で Labo が優勝を飾る

【ソフト連盟理事長 中山芳一】

北信越ブロック総合フェスティバルが 10 月 20 日（土）・21 日（日）の二日間、石川県七尾市において開催されました。

会場は、七尾総合市民体育館と七尾市城山体育館の二会場で、シルバーの部・スポレクの部・レディースの部・フリーの部の 4 種別が開催されました。長野県からは、各種別 2 チームの参加とフリーの部は 4 チーム、合わせて 10 チームが参加して熱戦が繰り広げられました。

それぞれの種別 12 チームを 3 ブロックに分けた予選リーグの後、予選リーグの各ブロックの 1 位・2 位を上位グループ、3 位・4 位を下位グループに分け、上位グループ 6 チームによる決勝リーグを行いました。

レディースの部に出場した LOOK と dai-fuku チームは予選を好成績で上位グループに上がり、dai-fuku チームが全勝で 1 位になりました。

フリーの部は、長野県からは 4 チームが出場。4 チーム全てが上位グループに勝ち上がり 6 チームの決勝リーグが行われました。長野県同士で当る場面もありましたが、全勝で Labo チームが 1 位となりました。



チーム dai-fuku



チーム Labo

第7回長野県13地区対抗6人制バレーボール選手権大会(U-14の部)

男子は長水協会A、女子は上伊那協会が優勝を飾る！

【指導普及委員長 三村公二】

10月8日（月）の体育の日、松本市波田体育館を始めとする4会場で、第7回長野県13地区対抗6人制バレーボール選手権大会（U-14の部）を開催しました。

7年目を迎えて行われた今大会ですが、今年は13地区全ての地区協会から男女共16チームが参加し、参加人数も今までで最も多くなって、盛大に開催することができました。

この大会は、13地区協会の若手メンバーの発掘と協会メンバーの縦横のつながりを願って企画してきている大会です。各地区で様々な工夫をしながらスタッフの確保や選手集めをして頂き、年を追う毎に参加者が増えてきていることを感じます。心から感謝申し上げます。大会趣旨にもありますように、今大会に参加した中学3年生が高校へ進学してからも、バレーボールを続けられるようにと願っております。

今年は4チームによる予選リーグ戦（2セットマッチ）を行った後、勝ち上がった4チームによる決勝トーナメント戦（1セットマッチ）を行いました。多くの選手を出場させながらの中でしたが、それぞれのチームが熱い戦いを繰り広げ、試合展開が目まぐるしく変わりながらも、選手が力を出し切る試合が多くありました。また、ただ勝負に徹するだけでなく、バレーボールを楽しみ、今後の活躍を予感させてくれるプレーも多くありました。選手たちにとって有意義な大会になってくれたと感じた1日でした。結果は、男子は長水協会Aが、女子は上伊那協会が、手に汗を握る熱戦を制して優勝しました。おめでとうございます。



今大会では参加選手数が多く、参加チームを増やしたいという要望をいくつかの協会から頂いており

ります。今年は規定通りのチーム数で大会を開催しましたが、今後の課題としていきたいと思っています。また今大会につきまして、各地区協会からの要望もいくつか頂いております。来年以降に生かしていけるようにしたいと思っております。

最後に、今大会を開催するに当たり、ご尽力頂いた開催地である松本協会の皆様を始め、選手・保護者の皆様、全ての関係者の皆様に感謝申し上げます。



VC長野トライデント決意表明・激励会開催される

【県協会総務委員長 内山政則】

10月20日（土）、伊那市J A伊那本店に於いて、2018/19 V1リーグ初参戦に向けてのVC長野トライデント（以下VC長野）決意表明会・激励会が70名余りの参加者の下、盛大に開催されました。

冒頭、VC長野：保科良博部長が開会の挨拶を述べた後、本協会：江村恵一副会長がV1リーグ参戦に向けての激励、今年度国体5位入賞への御礼、今後の協会としての全面的な応援をする旨の挨拶がありました。続いて宮下一郎衆議院議員から激励の言葉も含めた御祝辞、南箕



輪村村長の力強い御発声による乾杯で宴が始まりました。

宴の途中には、高森町の壬生照玄町長に激励の言葉も頂きました。更に選手一同による日本体育大学名物の「エッサッサ」の余興、監督・コーチ・選手の決意表明と続けました。

笹川星哉監督の最初の挨拶にありました「この日を迎えられたことは大変嬉しいが、それと同じ位不安な気持ちもある」の言葉が心に残ります。参戦チーム唯一の地域密着型クラブチームです。全員の力で応援し、VC長野旋風を起こして欲しいと思います。

2018/19V1リーグ男子松本大会 VC長野トライデンツが松本市長を表敬訪問

【松本協会理事長 田原 茂】

今シーズンから、新たな体制で開催するバレーボール国内トップリーグ「V1リーグ」に、VC長野トライデンツが参戦することとなり、10月27日から来年2月16日まで、松本市総合体育館で、VC長野トライデンツがホームゲームを開催します。

ホームゲームの開催に伴い、10月23日に、VC長野トライデンツの笹川星哉監督、アーマツ・マサジェディコーチ、長野県バレーボール協会の佐藤錬二副会長、竹淵光雄専務理事、松本バレーボール協会の春原啓子会長など関係者が、開催地である松本市の菅谷昭(すげのやあきら)市長を表敬訪問しました。

VC長野トライデンツからは、松本市総合体育館での開催に対する感謝と、V1リーグ概要の説明、チームの状況や今後の展望、試合への意気込みなどを語り、松本市の協力をお願いしました。

菅谷市長からは、市では、プロスポーツの振興を積極的に進めており、国内トップリーグであるVC長野トライデンツのホームゲームが松本市で開催されることは大変ありがたい。地元の子どもたちに試合の醍醐味を感じてもらい、大勢の皆さんに夢を与えてほしい。松本市もできる限り協力していきたい、との心強い激励をいただきました。

新たなV1リーグの開催により、長野県のバレーボールが発展するよう、VC長野トライデンツの活躍を心から祈っています。



平成30年度 第1回 正副会長、専務理事会議開催される

【県総務委員長 内山政則】

10月20日(土)13:00から辰野町協会事務局にて標記会議が開催されました。

冒頭、会長からは日頃の活動に対する労いの言葉を頂くと共に、国体バレー種目7位入賞を3年ぶりに果たすことが出来たことへの感謝の言葉がありました。又、過日開催された世界バレー視聴率は、長野県が全国1位となり、バレーボールへの関心の高さが示されたこと、更には松本国際高校前名誉校長 壬生義文氏の不幸事についても触れられ、今後の再発防止について知恵を絞って欲しい旨の挨拶がありました。

会議は、今後の・協会運営、体制・コンプライアンス・ワールドカップ等について議論されました。

10月 試合結果

☆ 第73回国民体育大会

http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2018siaikeka/30.10.5kokutai_zenkoku.pdf

☆ 第7回長野県13地区対抗6人制選手権大会(U14の部)

http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2018siaikeka/30.10.8_13tiku_u14.pdf

☆ 天皇杯・皇后杯全日本選手権大会北信越ブロックラウンド

http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2018siaikeka/30.10.13tennouhai_hokusinetu.pdf

☆ デサント杯第17回北信越クラブバレーボール男女優勝大会

http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2018siaikeka/H30.10.13descentehai_culb_hokusinetu.pdf

☆ 第71回全日本高等学校選手権大会長野県第1ラウンド

http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2018siaikeka/H30.10.28haruko_1R.pdf

11月 スケジュール

11/2(金)～4(日)	第9回全国ヴィンテージ8' S 交流大会	(沖縄県)
11/3(土)	第16回プライア杯ソフトバレーボール・フェスティバル	(伊那市)
11/3(土)～4(日)	第66回秋季北信越大学男女選手権大会	(富山県)
11/4(日)	さわやか信州カップ第36回長野県小学生選抜優勝大会	(軽井沢町)
11/4(日)	平成30年度スポーツ指導員養成講習会(専門科目)	(大町市)
11/5(月)	長野☆ガロonz 須坂市長表敬訪問	(須坂市)
11/9(金)	第82回国民体育大会・第27回全国障害者スポーツ大会 長野県準備委員会の第2回総会	(長野市)
11/9(金)～11(日)	第17回全国社会人9人制東ブロック男女優勝大会	(富山県)
11/15(木)	(公財)長野県体育協会競技団体ヒアリング	(長野市)
11/18(日)	第39回長野県ママさんバレーボール連盟大会	(佐久市)
11/18(日)	第7回長野県13地区対抗6人制選手権大会 (一般・高校の部)	(大町市)
11/18(日)	ミズノ杯第18回6人制長野県クラブ選手権大会	(大町市)
11/24(土)～25(日)	第71回全日本高等学校選手権大会長野県代表決定戦	(長野市)
11/24(土)～25(日)	2018-19 V.LEAGUE Division1	(松本市)
11/29(木)～12/2(日)	第88回全日本9人制総合男子選手権大会 第87回全日本9人制総合女子選手権大会	(大阪府)
11/30(金)～12/2(日)	第7回全国ソフトバレースポレクフェスティバル	(三重県)